

図柄入りナンバープレート等に関する検討会（第14回）

議事概要

1. 日 時：令和8年6月19日（金） 15：30～17：10
2. 場 所：三菱総合研究所会議室
3. 出席者：石田勝利委員、石田東生委員、岡安委員、北嶋委員、竹岡委員、寺井委員、
吉田委員
(50音順)
4. 議事概要
 - (1) 議事2 図柄ナンバープレート（ふるさと版）の今後の方向性について
事務局から資料1及び2について説明し、議論を行った。案文については座長一任とすることとなった。
 - (2) 議事3 人気がある希望番号を取得しやすくする方策の今後の方向性について
事務局から資料1及び2について説明し、議論を行った。案文については座長一任とすることとなった。
 - (3) 議事4 その他について
事務局から資料3及び資料4の説明を行った。

（委員からの主な意見）

<議事2 図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の方向性について>

- ふるさと版は地方版と別の制度ではなく、地方版にぶら下がるものであることが初見の人にもわかるように本文や参考資料にて明確にすべきではないか。
- 費用負担について、自動車ユーザーから交付対象図柄の地域に寄付することはわかりやすいが、自動車ユーザーが居住する地域へ寄付することについては、地方版の図柄が存在しない地域の場合は寄付先の受け皿がないことなどシステム以外の検討課題にも留意する必要がある。
- 申込みから交付までの期間について、現行よりも早い時期からふるさと版を申込みできるような手法についてあわせて検討することとあるが、早い時期に申し込むには車台番号が不明であっても良いという運用を取る必要があり、現行のシステム上では車台番号がなくても図柄ナンバープレートの申込みは出来るものの、本人と紐付けて

いる情報が車台番号であるため、ダミーで申請されると判別がつかないので、なりすましの対策などが今後の検討課題となる。

- 「走る広告塔」というキャッチフレーズについて、広告主たる自治体側に対して制度を説明する場合であれば良いが、自治体と自動車ユーザーの双方に対しては、「走る広報大使」の方が適切ではないか。
- (2) 交付対象図柄において、デザイナーの活用が明文化されているのでこれを機会により魅力的な図柄となることに期待したい。

＜議事3 人気がある希望番号を取得しやすくする方策の今後の方向性（案）について＞

- 金銭的な対価を求めることで倍率を平準化することと、収益を公益事業に活用することとは別問題であるため、金銭的な対価を求めることと寄付金制度を活用することを区別して記載した方が丁寧ではないか。試行にあたり抽選対価を求める時期を当選時とすることに異論はないが、抽選に当選した場合に寄付金を納めることが担保できて初めて効果が得られるのではないか。
- 抽選方式でのチケット購入においても制限なく申込みができる仕組みとしており広く門戸を開いている事例があるので、試行段階においては、抽選に当選した場合に寄付金を納めていただく必要があることを申込時に案内することでよいのではないか。
- ユーザーが希望する番号を取得しやすくすることといった本施策の目的と基本方針に記載しているユーザーの行動変容を促すことは整合しないように思われるため、行動変容を促すという表現を改めてはどうか。短期と長期の取組は今の表現で良いが、抽選対価を求める仕組みについては全体ではなく限定した番号に係るものであることから一時的な取組、実験的な施策に位置付けてはどうか。
- 3.2.2.2の(1) 抽選対価の收受方法と(2) 抽選対価を求める時期の双方に「新たなシステムを構築する必要」があることが記載されているところ、分かりやすさの観点からそれぞれのシステムについて正確に記載してはどうか。
- 抽選対価の表現方法について、抽選そのものに対する対価と、抽選の結果当選したことに対する対価の2つの意味があるので、例えば、参加料を無料にすることと、実質的に当選者が支払う対価とに書き分けてはどうか。

以上